

学生等災害ボランティアリーダー育成事業 活動報告書

概要版



石 川 県

委託機関：財団法人 石川県県民ボランティアセンター

金沢市香林坊2丁目4番30号香林坊ラモーダ7階
TEL 076-223-9558 FAX 076-223-9559
E-mail e130500a@pref.ishikawa.lg.jp

平成25年3月
石 川 県

【背景・目的】

石川県内の大学では、能登半島地震や東日本大震災を契機に災害ボランティアサークル等が立ち上げられ、それぞれ独自に活動を行っている。また、企業においても、被災地に従業員を送り出すなどの災害ボランティア活動が行われている。一方、甚大な被害をもたらした東日本大震災の被災地での活動環境は大変厳しく、とりわけボランティアリーダーには不眠不休と言っても過言ではない活動が求められ、石巻市では20～40代がボランティアリーダーの中心となっていた。こうした現状の上で、地域防災力のさらなる向上を考えていくためのキーワードとして浮かび上がったのは、「若者」、「連携・きずな」であった。

そこで、災害ボランティア活動に積極的に取り組んでいる県内各大学や企業、NPOと県民ボランティアセンター、県社会福祉協議会、日本赤十字社石川県支部などが連携を密にし、県内での災害に迅速かつ柔軟に対応できる体制を整えるための第一歩として本事業を実施した。

【概要】

①シティカレッジ講座

災害ボランティア活動における若手のリーダー的存在となる人材を育成するため、大学コンソーシアム石川のシティカレッジ単位互換事業を活用して、講義や実践活動、グループディスカッション等の講座を行った。

②被災地における災害ボランティア実践活動

実際の被災地を訪れ、被災地の状況を直接見聞したり、現地の方と交流したりすることで、災害ボランティアに対する意識を高め、理解を深めてもらうため、東日本大震災の被災地である宮城県石巻市を中心に活動を行った。

③企業としての災害ボランティア活動検討会

県内で災害が発生した場合に、企業として被災者・被災地のためにどのような支援を行うことができるかを具体的に検討するとともに、従業員のボランティア活動や企業の社会貢献活動のリーダーとなりうる人材を育成するための検討会を実施した。

④いしかわ災害ボランティアきずなフォーラム

災害時における若いボランティア及び多様な人材、ノウハウを有する企業によるボランティア活動の必要性と今後の生かし方について、県民も含めて検討するため、フォーラムを開催した。

【学生等災害ボランティアリーダー育成事業研究会】

複数の大学や団体に所属する講師によるこのような事業は初めての試みとなるため、実施にあたり、内容の検討及び結果の検証などを行う組織として研究会を設けた。なお、平成23年度中に本事業に関する検討準備会を実施した。

スケジュール

年度	シティカレッジ講座 被災地における災害ボランティア実践活動	企業としての災害ボランティア活動検討会 いしかわ災害ボランティアきずなフォーラム	学生等災害ボランティアリーダー 育成事業研究会
H23	11月29日～3月15日で検討準備会を5回実施		
H24	4月20日 履修ガイダンス① 4月27日 履修ガイダンス② 5月11日 第1回講義 5月25日 第2回講義 6月8日 第3回講義 6月22日 第4回講義 7月6日 第5回講義 8月6日 実践活動事前研修① 8月10日 実践活動事前研修② 8月27日 第6回～第14回実践活動 (～8月30日 A日程) 9月10日 第6回～第14回実践活動 (～9月13日 B日程) 10月6日 第15回講義(修了)	6月19日 企業としての災害 ボランティア活動検討会	4月18日 実践活動現地調査① (～4月19日) 4月24日 第1回研究会 6月7日 第2回研究会 7月3日 第3回研究会 8月1日 実践活動現地調査② (～8月2日) 8月2日 第4回研究会 9月24日 第5回研究会 11月6日 第6回研究会 12月7日 第7回研究会 2月18日 第8回研究会 3月14日 第9回研究会
		11月17日 いしかわ災害ボランティア きずなフォーラム	

1 シティカレッジ講座「地域社会における学生による災害ボランティアーいしかわの地域に根ざした災害ボランティアづくりー」

【講座内容】

日程	テーマ	内容・講師・会場
4/20、4/27 履修ガイダンス		履修希望者に対する事前説明 [講師] 池田教授 [会場] 大学コンソーシアム石川
5/11 第1回	これからの地域社会と ボランティア活動	本講義の趣旨や主な内容を説明 [講師] 八重澤教授、武山教授、 田中准教授、茂尾専門員、 北村防災ボランティアリーダー、 上田県民交流課長 学生としてのボランティアについて講義 [講師] 池田教授 [会場] 大学コンソーシアム石川
5/25 第2回	被災者に寄り添う災 害ボランティア	被災地の実情に即した災害ボランティア について講義 [講師] 武山教授、田中准教授 [会場] 大学コンソーシアム石川
6/8 第3回	災害発生時への対応	災害発生時に想定される被災地の実情に 即した災害ボランティア活動について講義 [講師] 北村防災ボランティアリーダー、 茂尾専門員 [会場] 日本赤十字社石川県支部
6/22 第4回	学生の被災地におけ る活動を通して	実際に被災地において災害ボランティ ア活動を行った学生たちと共に、諸課題 について学習 [発表] 金沢大学3人、県立看護大学2人、 金沢星稜大学2人 [会場] 大学コンソーシアム石川
7/6 第5回	NPO・企業等におけ る災害ボランティア	災害時におけるNPO・企業等の取り組 み、あり方について講義 災害ボランティア活動における事例に基 づいてグループワークで検討 [講師] 茂尾専門員、 北村防災ボランティアリーダー [会場] 大学コンソーシアム石川
8/6、8/10 実践活動事前研修		実践活動参加者に対して事前研修 [講師] 池田教授 [会場] 大学コンソーシアム石川
8/27-30(A)、9/10-13(B)		被災地の状況を直接見聞したり、現地 の方と交流したりすることで災害ボラン ティアに対する意識を高め、理解を深め るため、宮城県石巻市等で活動
第6回～ 第14回	被災地における災害 ボランティア実践活動	
10/6 第15回	災害ボランティアネッ トワークへのステップ	今後の学生ボランティアのあり方につい て、グループワークで検討、発表 [講師] 池田教授、 八重澤教授、武山教授、 田中准教授、 茂尾専門員、 北村防災ボランティアリーダー、 上田県民交流課長 [会場] 県文教会館



被災地での実践活動が含まれるなど、講座の特殊性を履修希望者に説明するため、事前に履修ガイダンスを行った。

【概要】
開催方法
 大学コンソーシアム石川のシティカレッジを活用(単位互換事業)
単位認定機関
 金沢星稜大学
講師
 研究会委員がそれぞれの専門分野で担当
 八重澤教授(金沢大学)、武山教授(県立看護大学)、池田教授(金沢星稜大学)、田中准教授(北陸学院大学)、茂尾専門員(県社会福祉協議会)、北村防災ボランティアリーダー(日本赤十字社石川県支部)、上田県民交流課長(県)
受講者
 金沢大学、県立看護大学、金沢星稜大学、北陸学院大学から62人が受講(外国人留学生3カ国4人を含む)



金沢大学の足湯ボランティアや県立看護大学の仮設住宅での健康チェック、金沢星稜大学学生赤十字奉仕団としての取り組みなどを学生自身が発表した。

災害ボランティア活動において、
 ①仲間で話し合い、いろいろな意見を出し合うことが必要
 ②疑問や課題を相談できる仲間を作っておくことが大切
 ③ボランティアリーダーは物事の決定役ではなく、仲間の意見の整理役であることを学んだ。



グループワークで検討、発表
履修者に対して修了証書授与

【受講者の声】

- ・災害ボランティアは敷居が少し高いと感じていたが、受講して距離感が縮まった。
- ・災害ボランティアには様々な形や方法があるが、何より被災者のニーズに応えることが大切だとわかった。
- ・災害ボランティアを行うにあたって、「地域社会における」という視点を持って考えていきたい。

2 被災地における災害ボランティア実践活動

【概要】

日 程：A日程 [平成24年8月27日(月)～30日(木)]
 B日程 [平成24年9月10日(月)～13日(木)]
 各3泊4日

行 先：宮城県石巻市、東松島市、女川町、松島町
 移 動：各日程大型バス1台(現地での移動時も使用)
 集合場所：しいのき迎賓館・石川県庁

参 加 者：A日程 27人(看護師1人含む。)
 B日程 30人(企業としての災害ボランティア活動検討会参加企業から社会人2人、看護師1人含む。)

活動内容：大学、社会福祉協議会、寺院、新聞社など多岐にわたる立場からの講義のほか、清掃活動などを実施
 現地の講師や若いボランティアとの意見交換などによる交流を実施
 参加者は一日ごとに活動報告書を作成
 研修のまとめとして最終日前夜にグループワークを行い、相互に考えや意見を共有

宿 泊：洞源院1泊、石巻専修大学2泊
 連携協力：石巻専修大学山崎省一教授の協力を得て実施
 そ の 他：参加者本人及び未成年者の保護者より同意書を提出
 実践活動に際し、国内旅行傷害保険に加入

【A日程スケジュール※】

日 時	活動内容
8月27日(月)	9:00 県庁出発 17:00 洞源院到着、活動スケジュール説明 19:00 講話「生きるとは何か?」 洞源院住職 小野崎秀通氏(宿泊:洞源院)
8月28日(火)	5:00 起床、宿泊先での朝の活動 8:00 境内清掃 9:00 渡波地区ゴミ拾い、渡波駅草むしり・清掃活動 11:50 女川町視察 13:00 講義「3.11から今日までの支援の在り方」 石巻市社会福祉協議会課長補佐 阿部由紀氏 15:00 講義「震災壁新聞」 石巻日日新聞社常務取締役 武内宏之氏 16:00 講義「復興支援活動」 石巻専修大学経営学部准教授 山崎泰央氏 18:30 交流会(講師、復興関係ボランティア等) (宿泊:石巻専修大学)
8月29日(水)	6:00 起床、宿泊先での朝の活動 9:00 講義「東日本大震災、その時学校は」 門脇小学校前校長 鈴木洋子氏 10:30 南浜地区視察(門脇小学校、日和山公園) 12:00 説明「ホット横丁石巻開業の経緯」 ホット横丁石巻マネージャー 尾形真利氏 14:00 商店街の自由視察 16:00 講義「石巻の復興とスポーツ事情」 NPO法人石巻スポーツ振興サポートセンター理事長 松村善行氏 19:30 研修のまとめ(宿泊:石巻専修大学)
8月30日(木)	6:00 起床、宿泊先での朝の活動 9:00 東松島市、松島町等視察 20:00 金沢到着

※B日程:A日程に準じた内容で実施



洞源院の小野崎住職からは、寺院で最大400人の避難者を受け入れた体験から、共同生活でのルールづくりを学んだ。



渡波地区で、道路のゴミ拾いや駅前の草むしりなどのボランティア活動を行った。



石巻専修大学の山崎教授からは、日頃から生と死について考えておくことの大切さを学んだ。



中心市街地の復興支援店舗などで地元住民から復興への思いや実情などについて話を聞いた。



門脇小学校の鈴木前校長からは、実際の避難経路を歩きながら、日頃の訓練の大切さやリーダーの判断方法を学んだ。



石巻スポーツ振興サポートセンターの松村理事長からは、避難所や商店街復興におけるリーダーシップの重要性について学んだ。



石巻市社会福祉協議会の阿部課長補佐からは、災害ボランティアセンターの運営や今後の継続的支援について学んだ。



現地の講師や復興に携わる学生や社会人のボランティアとの交流会を行い、互いの考えについて意見を交換した。



参加者のそれぞれが学び感じたことをグループに分かれて話し合い、その結果を発表して、全員で共有した。

【まとめ】

活動内容は、災害ボランティアや震災からの復旧・復興にリーダーとして携わる方々から、直接その体験や思いを聞き、意見交換することを主とし、参加者は、被災地の現状を見て、地域住民の方々から直接話を聞くことで、災害ボランティアに対する様々な思いを感じることができた。

参加者による感想では、「ニュースで見るとは全く違った」「多くのことを感じる事ができた」といったものから、「災害ボランティアは労力だけではない」「多くの視点から考えることができた」「問題が多岐にわたることに気づいた」など被災地や災害ボランティアに対する捉え方の変化に加え、「普通に生活できることに感謝する」「普段出来ることを皆で話し合う」など平時からの備えを主体的に考えようとする意識の変化が見られ、積極的な防災への姿勢が育まれた。

3 企業としての災害ボランティア活動検討会

【概要】

開催日：平成24年6月19日（火）13:30～16:00

開催場所：石川県庁11階 1102会議室

基調講演「災害ボランティアと企業災害ボランティア」

講師 北村 裕一氏

（日本赤十字社石川県支部防災ボランティアリーダー）

意見交換会

異業種の企業等が3グループに分かれ、自社の災害ボランティア活動等に関する現在の取り組みを紹介し合い、これから新たに取り組むことができそうな活動について検討した。

参加者：15社20人（社会貢献や災害ボランティア活動を行っている企業・団体を中心に）

【意見】

- ・被災地で不足する物資は主に生活必需品のため、平時から業界として準備をしておく。
- ・ボランティア保険などの加入料を企業で負担するなど、従業員のボランティア活動への支援体制を整える。
- ・地域のボランティア活動や募金、従業員向けの勉強会を実施するなど、従業員のボランティアに関する意識向上に努める。

【総括】

この検討会を通じて災害に関する認識を共有し、平時の地域貢献活動への参加促進のきっかけとするとともに、災害が発生したときには、相互に連携を取り合うことが重要である。



グループごとの検討内容発表

4 いしかわ災害ボランティアきずなフォーラム

【概要】

開催日：平成24年11月17日（土）13:00～16:00

開催場所：石川県立美術館ホール

基調講演「私に出来ること」

講師 山崎 省一氏（石巻専修大学理工学部教授）

パネルディスカッション「災害におけるきずなとボランティアについて」

コーディネーター 池田幸應氏（金沢星稜大学人間科学部教授）

アドバイザー 山崎省一氏（石巻専修大学理工学部教授）

パネリスト 学生4人（シティカレッジ講座受講者代表）

企業2人（企業としての災害ボランティア活動検討会参加者代表）

聴講者数：131人（学生、災害ボランティアコーディネーター、一般県民等）



基調講演

【意見交換】

パネルディスカッションでは、
・シティカレッジ講座を受講して、学生という立場で出来ること
・災害時、企業として学生に期待することや企業と学生の連携
・学生の災害ボランティアのあり方や地域での可能性
などについて意見交換し、最後に「これから一緒に始めよう」をキーワードとして締めくくった。

【総括】

災害ボランティア活動を広めるため、学生や企業という枠を超えて、お互いの立場を理解しながら、日頃から災害に備えて、万一災害が発生したときは、みんなで心をつにし、協働して取り組むことが大切である。



パネルディスカッション

【アンケート結果】(抜粋)

- シティカレッジ講座の分析：受講前のアンケートでは「災害ボランティア活動を自ら実施する」とした者が8.3%であったが、受講後は61.1%となり、災害ボランティア活動への意識や意欲の高まりが見られた。
- きずなフォーラムの分析：聴講者アンケートでは、「地域や学校、企業の『きずな』の大切さを改めて認識した」という意見が多数あり、また、90.6%が「災害ボランティアへの関心が高まった」と回答し、防災意識の高まりが見られた。

【事業の成果】

東日本大震災では若者や企業のボランティアが大きな力を発揮したという教訓を踏まえて始まった「学生等災害ボランティアリーダー育成事業」は、全国的にも高等教育機関の集積度が高いという本県の特長から、大学コンソーシアム石川「シティカレッジ単位互換事業」を活用し、災害発生時に即応できる学生等の災害ボランティアの中核的人材を育成するプログラムや、災害ボランティア活動に取り組む企業相互の意見交換などを実施した。

全15回のシティカレッジ講座の中には、学生による災害ボランティア活動の発表やグループワークのほか、甚大な被害が残る宮城県石巻市において、被災地域住民やNPO、行政、ボランティアリーダーなどから直接的に学ぶ実践活動が含まれ、地域や災害を強く意識することにつながった。また、企業としての災害ボランティア活動検討会では、他の企業・団体の社会貢献や災害ボランティア活動に係る取り組みを相互に知ることで、企業の組織力を生かした災害ボランティアリーダーの育成や企業間連携による災害ボランティアネットワークの構築に向けて一歩大きく踏み出した。

この事業を通して、今後の本県における地域・大学・企業による災害ボランティアのネットワークの重要性について認識の共有が図られるとともに、参加者はもとより県民の災害ボランティア意識の更なる醸成につながったものと考えている。

【「第9回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム」における報告】

平成24年9月1日（土）、2日（日）、神奈川県相模原市のグリーンホール相模大野と相模女子大学を会場に、「第9回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム」が開催された。フォーラムでは6分科会に分かれ、そのうち第3分科会では「地域社会における学生による災害ボランティア」をテーマとし、本事業「学生等災害ボランティアリーダー育成事業」について報告が行われた。報告の中で複数の大学や団体が協働して人材育成事業を行っていくのは簡単なことではないが、この事業を通して、各大学や企業、行政それぞれが独自に行ってきたものが、顔の見える関係へと少しずつではあるが発展していることが紹介され、学生ボランティア活動を推進している他県の自治体や大学に対しての情報発信につながった。

【関係機関・関係者一覧】

◆シティカレッジ講座

（一社）大学コンソーシアム石川、（社福）石川県社会福祉協議会、日本赤十字社石川県支部、金沢大学、石川県立看護大学、金沢星稜大学、北陸学院大学

◆被災地における災害ボランティア実践活動

石巻専修大学	坂田隆学長、山崎省一教授、山崎泰央准教授、村山司
（社福）石巻市社会福祉協議会	阿部由紀課長補佐
輝寶山洞源院	小野崎秀通住職、小野崎美紀
門脇小学校	鈴木洋子前校長
（特）石巻スポーツ振興サポートセンター	松村善行理事長
（株）石巻日日新聞社	武内宏之常務取締役、平井美智子報道部長
（株）ホット横丁	森孝之支配人、庄司利光マネージャー、尾形真利マネージャー、森岡真宏

◆企業としての災害ボランティア活動検討会

（社福）石川県社会福祉協議会、日本赤十字社石川県支部
[参加企業・団体]

石川県生命保険協会、（社）石川県警備業協会、（公社）石川県バス協会、（社）石川県ビルメンテナンス協会、興能信用金庫、コープいしかわ、サンケンオプトプロダクツ（株）、せせらぎ通り商店街振興会、（株）長村建築事務所、（公社）日本青年会議所、（公社）日本青年会議所北陸信越地区石川ブロック協議会、（株）北陸サンライズ、北陸信用金庫、名鉄観光サービス（株）、米沢電気工事（株）

◆いしかわ災害ボランティアきずなフォーラム

（社福）石川県社会福祉協議会、日本赤十字社石川県支部、石巻専修大学、（社）石川県ビルメンテナンス協会

◆学生等災害ボランティアリーダー育成事業研究会

【委員長】池田 幸應	金沢星稜大学人間科学部教授
【委員】八重澤 美知子	金沢大学国際機構教授
武山 雅志	石川県立看護大学看護学部教授
田中 純一	北陸学院大学人間総合学部准教授
茂尾 亜紀	石川県社会福祉協議会ボランティアセンター専門員
北村 裕一	日本赤十字社石川県支部防災ボランティアリーダー
上田 敏広	石川県県民文化局県民交流課長